

SJクイズ

[問題編]

Q₁

小学生の歩行中の交通事故死者数（平成25～29年の合計）を学年別にみると、最も多い小学1年生は小学6年生の何倍でしょう？

- ① 2倍 ② 4倍 ③ 8倍

Q₂

小学生の歩行中の交通事故死傷者数を通行目的別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ① 登校中 ② 下校中 ③ 遊戯

Q₃

小学生の歩行中の交通事故死傷者数を事故類型別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ① 横断中 ② 対面通行中 ③ 背面通行中



「解答」は7面下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

【使用上の注意】

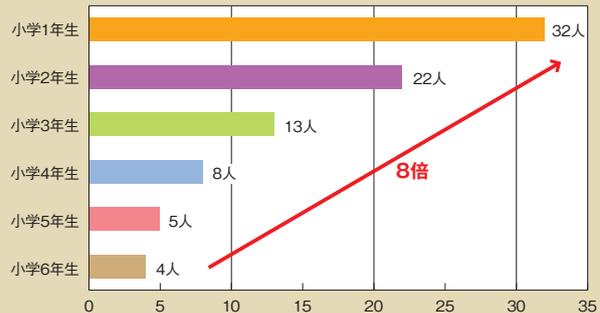
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ③ 8倍

<解説>

小学生の歩行中の交通事故死者数（平成25～29年の合計）を学年別にみると、小学1年生が32人と最も多い。学年が上がるにつれて死者数は減少し、6年生では4人となっている。2年生も22人と多いため、交通ルールを身につけ、安全に道路を歩けるようになるためには、小学校入学直後だけでなく、それ以降も繰り返し交通安全教育を行っていくことが大切である。

●小学生の歩行中の学年別・交通事故死者数
(平成25～29年の合計)

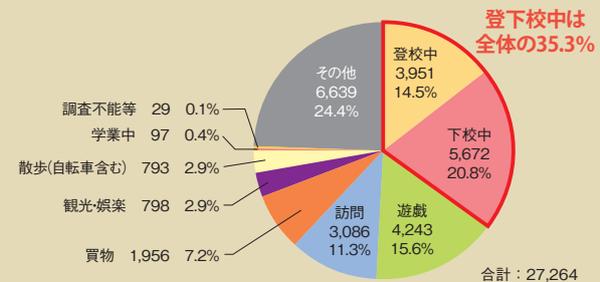


Q2 解答 ② 下校中

<解説>

小学生の歩行中の交通事故死傷者数(2万7264人)を通行目的別にみると、下校中が20.8%(5672人)と最も多い。登校中も14.5%(3951人)を占めており、全体の3分の1以上は登下校中に事故に遭っている。事故防止のためには、通学路や公園など子どもの行動範囲を一緒に歩きながら子どもの視点に立って危険箇所や安全な渡り方などを確認することが大切である。また、ドライバー・ライダーは、小学生が登下校する時間帯にスクールゾーンや小学校付近を走行する時、特に注意が必要といえるだろう。

●小学生の歩行中の通行目的別・交通事故死傷者数
(平成25～29年の合計)



Q3 解答 ① 横断中

<解説>

小学生の歩行中の交通事故死傷者数を事故類型別にみると、70.0%が横断中である。そのうち、横断歩道での事故は約4割(39.1%)を占めている。横断歩道を渡る時は、必ず止まってから右、左、右をよく観て、クルマが来ていないことを確かめることを子どもに身につけてもらう必要がある。一方、ドライバー・ライダーは、横断歩道では歩行者保護に努めてほしい。

※文中のデータやグラフの出典はすべて警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736